

- パラナ州治安情報(パラナ州公安局経費不正利用の発覚)
- クリチバ治安情報(パラナ保安部隊(UPS)介入後の治安状況公表)
- サンタ・カタリーナ州治安情報(州議員宅における住居侵入強盗事件の発生)
- サンパウロ州各空港内での置き引き事件
- サンパウロ安全対策情報(被害速報)

.....

- パラナ州治安情報(パラナ州公安局経費不正利用の発覚)

当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、公金横領等の疑いが持たれているパラナ州公安局の一連の不祥事につき報じているところ、概要を以下の通りお知らせします。

1 実在しない市民警察署及び市民警察官に対する経費の捻出

(1) 2008年から2011年にかけて、市民警察官が勤務していない複数の市民警察署に対し、パラナ州公安局の予算が手当されていた旨判明した。

(2) ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙の調査によれば、同期間において、パラナ州北部、西部、北西部及び東部に所在する複数の市民警察署には市民警察官は配置されておらず、一般市民が居住していたケースや、管轄外の軍警察が配置されていたケースもあった。市民警察官の代わりに軍警察官が配置されていたケースにおいては、当該軍警察官に対し同市民警察向けの公安局経費はそもそも使用されておらず、同警察署が所在する地方自治体及び同住民からの寄付で運営されていた。

2 市民警察車輛燃料費の杜撰な管理

市民警察所有の使用可能な車輛は予算上存在しないにも拘わらず車輛燃料費が支給されていた。2004年から2011年に亘り市民警察官不在のパラナ州内地方自治体203地域において、総額2,300万リアルが本件経費として支給されていた。同州公安局経理補佐班によると、現状では市民警察署内で使用する予算の変更等は警察署長からの公文書による支給停止要請がなければ、停止されない旨言及した。

3 車輛及び警察官の私的利用

捜査及び職務以外の私用目的(送迎、買物及び旅行等)で、市民警察車輛、軍警察車輛及び公安局車輛が使用されていたことが判明した。また、公安局上層部は、捜査官や軍警察官を運転手として使用していた。他方、捜査に車輛を要する市民警察殺人課は、車輛が不足している。6ヶ月前、パラナ州検察庁はパラナ州公安局総合管理部に対し注意喚起したものの未だ改善されていない。

4 パラナ州政府による今後の対応

ベト・リッシャ州/パラナ州知事は、以下のとおり改善に取り組む旨言及した。

(1) 公安局車輛の不正使用に関する報道の審議につき、30日以内の調査実施

(2) 公安局車輛不正使用防止策の策定

(3) 一部公安局車輛には公道通行に関し特権が与えられているも公安局長により真に必要な車輛にのみ与えるべく見直しの実施

(4) 市民警察の組織再編を行う実施機関の決定

(5) 市民警察官増員に向けた市民警察官試験の実施

(6) 使用不能車輛の廃棄等につき迅速に実施

(7) 公安局が他局に貸与した公務員及び車輛の返還

(8) 出張費に関する監査方法の見直し

(9) 留置所におくべきでない被拘禁者を刑務所へ早期移送徹底

●クリチバ治安情報（パラナ保安部隊（UP S）介入後の治安状況公表）

6月5日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、犯罪組織の拠点となっているクリチバ市パロリン地区においてパラナ保安部隊（UP S）介入後の治安状況につき報じているところ、概要を以下のとおりお知らせします。

1 6月5日、ホベルソン・ボンダルッキ軍警察総隊長は、クリチバ市パロリン地区に対するパラナ保安部隊（UP S）介入後1ヶ月間を経過した治安状況につき、以下の通り発表した。

(1) UP S介入以前、窃盗事件は月平均12件であったが3件に減少し、月平均1件発生していた殺人事件は、皆無であった。また、麻薬密売逮捕者数は、月平均3.5人のところ14人に増加した。

(2) UP Sの活動内容は、軍警察による職務質問（11,194件）、巡回（160回）及び通報に対する出動対応（55件）であった。今後も同地区において軍警察30人が常駐する。

●サンタ・カタリーナ州治安情報（州議員宅における住居侵入強盗事件の発生）

6月4日付当地ジアリオ・カタリネンセ紙は、ダニエル・トゾ／サンタ・カタリーナ州議会議員（PSDB）宅において住居侵入強盗事件が発生した旨報じているところ、概要を以下の通りお知らせします。

1 被害日時

6月2日（土）21時30分頃

2 被害場所

サンタ・カタリーナ州コルジリエイラ・アウト市

3 被害者
ダニエル・トゾ州議員及び同家族他

4 被害品
電気製品，宝石，香水及び車両2台

5 事案概要

(1) 上記日時・場所において，同議員宅における住居侵入強盗事件が発生。強盗犯3人は，銃（リボルバー，ピストル及び散弾銃）を所持し，使用人及び使用人の息子を人質とし住居に侵入。強盗犯は，住居内にいた州議員，同夫人，同子女等を拘束の上，上記4を奪い逃走した。尚，翌3日，警察は放置された被害車両2台を発見した。

(2) 被害者に身体的被害は無い。

●サンパウロ州各空港内での置き引き事件
在サンパウロ日本国総領事館

6月3日付当地紙は，サンパウロ州の各空港内における置き引き事件につき報じていますところ，概要以下の通りお知らせしますので，出張等で空港を使用される際にはご注意ください。

4月までサンパウロ州各空港内にて置き引き事件が報告されているだけで767件発生。昨年同期間に比べ35%増加している。その内グアルーリョス空港においては513件発生（38%増加），コンゴニャス空港では114件発生（15.1%増加），ヴィラコッポス空港では140件発生（44.3%増加）している。

犯人は大凡二人組みで高級品を身に着け，カバン，リックサック，時にはパスポートを持っており，到着や出発で込み合う時間帯（午前5時から10時，午後6時から11時）のキャッシュディスプレイ，レストラン，自動チェックイン機付近で荷物から気が離れて，機械に集中している人をターゲットとし犯行を繰り返している。

空港での注意事項

- 1 到着の際カバンのチャックが開けられていないか確認する。
- 2 特に電子機器などが入っているカバンを人通りの多い場所で開けないこと。
- 3 何等か質問してくる者に対し注意する。
- 4 登録されたタクシー会社を利用すること。荷物は車の荷物入れに入れること。

●サンパウロ安全対策情報（被害速報）
在サンパウロ日本国総領事館

以下のとおり邦人旅行者に対する窃盗事件が発生しました。
ご注意ください。

1. 被害日時：5月30日（水）11時30分頃
2. 被害場所：Praça da Se
3. 被害品：リックサック，旅券，ノートブック，I Pad，現金（100ドル及び20

0へアイス) , ペンドライブ等

4. 被害状況 :

セー広場を歩いていると服が汚れていると声をかけられ、近くの洗面所の場所も教えてくれたので、その場所に向かい、リックサックを床に下ろして汚れを落とし、同所から出る際にリックサックがなくなっているのに気づいた。

5. 防犯対策 :

- (1) 常に警戒心を維持し、時より周囲に視線を配るなど、警戒心を顕示する。
- (2) 手元から荷物を離さないようにする。
- (3) ラフな服装を心がけ、装飾品・所持品は最小限にとどめる。
- (4) 貴重品は分散して所持する。